

第177回くらしの植物苑観察会 2013年12月21日(土)

「サザンカの名前とその変遷」

箱田 直紀(日本ツバキ協会会長 恵泉女学園大学名誉教授)

サザンカはツバキとともに日本の野生種から選抜されて世界に広まった日本原産の園芸植物で、その基になった野生のサザンカは、九州や四国から沖縄へかけて分布します。江戸時代の初め頃から次々と選抜された園芸品種には、桃色や紅色の花があり、八重咲きや千重咲きなどの華やかなものがたくさんありますが、野生種は6~7弁で一重咲きの白花です。



図1 野生サザンカの花

1. サザンカはなぜ山茶花なのか

日本の西南地域に野生するサザンカには、果実や種子が堅く、ツバキよりも小型であることなどからコカタシやヒメカタシなどのような地方ごとの呼び名があったらしいのですが、古くは平安時代以前から、日本の野生植物に中国の書物に出てくる植物名を当てはめる作業が延々と行われました。その過程で、中国名としてはむしろ日本のツバキに近い仲間に使われてきた「山茶(または山茶花)」の漢字がサザンカに当てられ、ツバキには春に花が咲く木という意味から「椿」という日本国産の漢字が使われるようになったと考えられています。しかし、それでも「山茶花」をサザンカとは読めないのですが、江戸時代初期の園芸書には山と茶が逆さになった「茶山花」とも書かれていて、これならサザンカと読めます。つまり、「山茶花」と書く漢字名は、中国の植物名を日本の植物に当てはめる過程でツバキと混乱したことと、園芸家による誤記が重なったためだろうと考えられています。

2. 園芸品種名の特徴と変遷

植物の名前やそれらの観賞価値が高い系統に優雅な名前をつけて楽しむということは、たぶん平安や室町時代にも行われていたと思いますが、江戸時代の初め頃から、ツバキやサザンカだけでなく多くの観賞植物の変異系統に優雅な名がつけられるようになりました。それらは商品として苗を生産する植木屋さん達に引き継がれ、明治期を経てさらに現代にまで引き継がれています。

しかし、品種名という使い方は恐らく明治以降のことで、種とか変種のような欧米からの分類知識が導入されてからでしょう。それまではその系統を他と区別したり、その特徴を表現するために個々の系統につけられた名称のようなものだったと思います。そのため、初期の名称には、「筑前紅」、「諫早」、「鎌倉」などのように、その系統が生まれたり、見つかった場所らしい地名や、「裏紅」、「かさね白」、「三段花」のように花の色や形を表現したものが多く見られます。



図2 鎌倉絞



図3 丁子車

しかし並行して、自然の風物や季節の移り変わりを意識した風物詩的な名前も多く、特に平安時代や鎌倉期の和歌の世界から引用したと思われる優雅な名前が増えてきます。サザンカやツバキ品種の発達は江戸時代以降であるにもかかわらず、平安時代や鎌倉期の和歌の世界に象徴されるいわゆる「王朝文化」への憧れが表現されているのだと思います。

末尾に資料として載せた「茶梅花大集」（茶梅花はサザンカにあてた中国名）は発行は明治中期（1898年）ですが、江戸時代に江戸で発達したサザンカを収集してまとめた番付で、合計で95品種があげられています。それらの名はいずれも優雅であるとともに、それぞれの花がもつイメージを見事に表現しているものが多いので感心させられます。

これに対して欧米でもバラをはじめとして花の品種名は豊富で、花の特徴をイメージ的に表現したものが多いのですが、同時に人名（多くは女性名）に由来するものが昔からたくさんあります。

自然の中や自然の風物に重ねて美を表現しようとした日本人の意識と、自然に人が関わった結果にこそ最高の美があるとするらしい欧米式の考え方に基本的な違いがあるのかも知れません。

ところで、会場に展示された鉢植えを見て気付かれる方も多いと思いますが、日本生まれの品種の中にも、人名に由来したらしいものが結構あります。しかし、そのほとんどは近年（主として戦後）に命名されたもので、多くは、奥さんや子供、孫、姪、憧れの人などの名前です。日本発祥のサザンカの場合でも最近では品種名が欧米化しているようです。

最後に、ツバキにはなくてサザンカに使われる独得な花形の表現として、‘鶴’や‘蝶’とあつたら、花卉が細長くて、花期の後半にはよじれたようになる（舞い咲きという）意味が含まれ、‘采’や‘才’とあつたら、花の雄しべの中に細長い小花弁が混じって、昔の采配のような形になる（采咲き）ことを表現しています。

系梅花大集

風 八重 支那 立田 銀の 東 明石 程々 至津 雪月 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花
玉 好 東 紅 初 和 市 千 釵 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花
玉 好 東 紅 初 和 市 千 釵 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花
玉 好 東 紅 初 和 市 千 釵 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花 	大明 使童 花 鏡 付の 日の 之の 紫雲 海 白 	東雲 	雪 至津 程々 明石 東 銀の 相 三 入 	錦 花 都 娘 采 紅 海 存 花

次回予告 第178回暮らしの植物苑観察会 2013年1月25日(土)
 「歴史に見る千葉の里山」 西谷 大(国立歴史民俗博物館研究部考古研究系教授)
 「桜草の育て方」 13:30~15:30(予定) 苑内休憩所集合 申込不要